



## 平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月8日

上場取引所 東

上場会社名 東京テアトル株式会社

コード番号 9633 URL <http://www.theatres.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 太田 和宏

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 松岡 毅

TEL 03-3355-1010

四半期報告書提出予定日 平成29年2月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	13,909	15.2	198	△49.0	271	△40.5	162	△59.3
28年3月期第3四半期	12,079	7.1	388	60.9	455	44.1	399	84.1

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 396百万円 (19.1%) 28年3月期第3四半期 333百万円 (26.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	2.07	—
28年3月期第3四半期	5.06	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%			円 銭	
29年3月期第3四半期	25,113		14,188	56.5			180.41	
28年3月期	24,250		13,904	57.3			176.15	

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 14,188百万円 28年3月期 13,904百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
28年3月期	—	0.00	—	1.00	1.00
29年3月期	—	0.00	—		
29年3月期(予想)				1.00	1.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,000	3.3	250	△43.0	300	△40.4	150	△58.8	1.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期3Q	80,130,000 株	28年3月期	80,130,000 株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	1,485,800 株	28年3月期	1,194,292 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期3Q	78,814,395 株	28年3月期3Q	78,936,379 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信開示時点において、四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。  
業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】4ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
(4) 追加情報 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

平成29年3月期第3四半期連結累計期間（平成28年4月1日～平成28年12月31日、以下「当四半期（累計）」といいます。）におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善が続く中、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響が懸念されるなど、先行きにつきましては依然として不透明な状況が続いております。

当社グループは、創立70周年記念作品『この世界の片隅に』が、全国的な大ヒットとなり当社配給作品の中で歴代1位の興行収入を記録するとともに、数々の映画賞を受賞するなど社会的関心を集めました。

当四半期（累計）の連結業績は、『この世界の片隅に』等の高稼働作品により映画興行事業及び映画配給事業が増収となったこと、不動産販売事業において中古マンション等の再生販売の売上が大幅に伸長したこと等から売上高は13,909百万円（前年同期比15.2%増）となりました。しかしながら飲食事業において人員確保のための待遇改善や来年度に予定しておりました改装を前倒しで実施したこと、不動産賃貸事業において保有不動産の修繕投資が増加したこと等から営業利益は198百万円（前年同期比49.0%減）、経常利益は271百万円（前年同期比40.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は162百万円（前年同期比59.3%減）となりました。

## ■連結経営成績（百万円）

	前年同期	当四半期（累計）	増減
売上高	12,079	13,909	+1,830
営業利益	388	198	△190
経常利益	455	271	△184
親会社株主に帰属する 四半期純利益	399	162	△236

セグメント別の業績概況は以下のとおりです。

## ■セグメント別外部売上高（百万円）

	前年同期	当四半期（累計）	増減
映像関連事業	2,490	3,228	+737
飲食関連事業	4,536	4,729	+192
不動産関連事業	4,318	4,676	+357
その他事業	733	1,276	+542
計	12,079	13,909	+1,830

## ■セグメント別営業利益（百万円）

	前年同期	当四半期（累計）	増減
映像関連事業	79	173	+93
飲食関連事業	74	△23	△98
不動産関連事業	745	641	△104
その他事業	19	△46	△66
調整額	△531	△546	△14
計	388	198	△190

## &lt;映像関連事業&gt;

## (映画興行事業)

『この世界の片隅に』に加えて『シング・ストリート 未来へのうた』『オーバー・フェンス』等が好成績を収めたことから前年同期比で増収となりました。

当四半期末の映画館数及びスクリーン数は、前年度末と同じ9館23スクリーンです。

なお「新所沢レッツシネパーク」は、平成28年12月16日に全席プレミアムシートを通常料金でご利用いただける映画館としてリニューアルオープンいたしました。

**(映画配給事業)**

『この世界の片隅に』の他、シリーズ28作目となる『それいけ!アンパンマン おもちの星のナンダとルンダ』が当社配給以後最高の興行収入を更新し、シリーズ化を目指す『映画きかんしゃトーマス 探せ!!謎の海賊船と失われた宝物』も好成績を収めました。これに加えて『ディアスポリス』のTVドラマ及び映画の制作受託売上が計上されましたので前年同期比で大幅な増収となりました。

**(ソリューション事業)**

既存クライアントから大型のセールスプロモーションや映画のテレビCMを受注したこと等から前年同期比で大幅な増収となりました。

以上の結果、映像関連事業の売上高は3,228百万円(前年同期比29.6%増)となり、営業利益は173百万円(前年同期比117.5%増)となりました。

**<飲食関連事業>****(飲食事業)**

平成28年5月1日に他社より都内飲食店5店舗を譲受けたことや、焼鳥専門店チェーン「串鳥」におきまして、平成28年10月5日に月寒中央店(札幌市)、同年11月3日に青葉通一番町店(仙台市)を出店したこと、さらに前年度に出店した千歳駅前店(千歳市)がフル稼働したことから、前年同期比で増収となりました。

当四半期末における飲食店及び惣菜・洋菓子店の店舗数は下表のとおりです。

**■飲食店及び惣菜・洋菓子店の店舗数**

	前年度末	当四半期末	増減
焼鳥専門店チェーン「串鳥」	36	38	+2
串焼専門店「串鳥番外地」他	3	3	0
都内ダイニング&バー	6	11	+5
飲食店 合計	45	52	+7
惣菜・洋菓子店 合計	3	3	0

※新規出店を以下のとおり進めております。

店名	オープン日
串鳥のワイン酒場「タント」駅前通店(札幌市)	平成29年2月27日(予定)
「串鳥番外地」駅前通店(札幌市)	平成29年3月8日(予定)

※既存店の競争力向上を図るため、以下のとおり業態変更を含む改装を進めております。

店名	リニューアルオープン日
焼鳥専門店チェーン「串鳥」北広島駅前店(北広島市)	平成28年11月21日
日本酒・大衆酒場 北海道ながまれ<旧・海鮮問屋 惣八>(港区)	平成28年11月24日
焼鳥専門店チェーン「串鳥」時計台通店(札幌市)	平成28年12月2日
焼鳥専門店チェーン「串鳥」荻窪駅西口店(杉並区)	平成29年2月9日
シンジユク・マルマーレ<旧・リビングバー新宿南館>(新宿区)	平成29年3月21日(予定)

以上の結果、飲食関連事業の売上高は4,729百万円(前年同期比4.2%増)となりましたが、人員確保のための待遇改善や来年度に予定しておりました業態変更を含めた改装を前倒して実施していること等から営業損失は23百万円(前年同期は営業利益74百万円)となりました。

**<不動産関連事業>****(不動産賃貸事業)**

前年度に不動産管理事業から撤退したことから前年同期比で大幅な減収となりました。

### (不動産販売事業)

低金利を背景に中古マンション等の再生販売の売上が大幅に伸長したことから前年同期比で大幅な増収となりました。

以上の結果、不動産関連事業の売上高は4,676百万円(前年同期比8.3%増)となりましたが、不動産賃貸事業の修繕投資が増えたこと等から営業利益は641百万円(前年同期比14.0%減)となりました。

### <その他事業>

その他事業は、サービス事業において大口債権を回収したこと等から売上高は1,276百万円(前年同期比74.0%増)となりましたが、同事業において利益率が低下したことから営業損失は46百万円(前年同期は営業利益19百万円)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ①資産負債及び純資産の状況

#### (資産の部)

資産合計は、前年度末と比べて863百万円増加し、25,113百万円となりました。これは、現金及び預金が299百万円増加したこと、販売用不動産が251百万円増加したこと、投資有価証券が時価上昇により320百万円増加したこと等によるものです。

#### (負債の部)

負債合計は、前年度末と比べて579百万円増加し10,925百万円となりました。これは、有利子負債が241百万円増加したこと、支払手形及び買掛金が405百万円増加したこと等によるものです。

#### (純資産の部)

純資産合計は、前年度末と比べて283百万円増加し、14,188百万円となりました。これは、利益剰余金が83百万円増加したこと、その他有価証券評価差額金が233百万円増加したこと等によるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、映画『この世界の片隅に』等が好成績をあげておりますが、飲食事業において来年度に予定しておりました改装を前倒しで進めていること等から、平成28年11月9日に公表いたしました通期連結業績予想を据え置いております。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

### (4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,767,964	2,067,703
受取手形及び売掛金	485,265	732,061
商品	116,630	146,110
販売用不動産	1,560,768	1,812,052
貯蔵品	15,750	22,185
繰延税金資産	62,829	50,945
買取債権	1,628,487	1,588,205
その他	962,683	647,077
貸倒引当金	△368,845	△457,294
流動資産合計	6,231,533	6,609,046
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,049,621	5,128,048
機械装置及び運搬具(純額)	59,291	57,564
工具、器具及び備品(純額)	185,414	260,916
土地	9,931,013	9,931,013
リース資産(純額)	91,294	90,147
建設仮勘定	-	19,764
有形固定資産合計	15,316,635	15,487,454
無形固定資産		
借地権	39,207	39,207
ソフトウェア	42,141	30,429
リース資産	741	313
のれん	-	24,920
その他	3,776	3,776
無形固定資産合計	85,867	98,648
投資その他の資産		
投資有価証券	1,873,470	2,193,475
長期貸付金	765	585
差入保証金	418,197	467,609
繰延税金資産	118,379	121,277
その他	378,968	293,838
貸倒引当金	△173,482	△158,400
投資その他の資産合計	2,616,299	2,918,386
固定資産合計	18,018,802	18,504,490
資産合計	24,250,335	25,113,536

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	902,984	1,308,015
短期借入金	210,000	185,000
1年内返済予定の長期借入金	656,392	723,942
リース債務	24,135	23,953
未払金	491,037	532,078
未払法人税等	90,608	58,584
前受金	297,654	124,134
賞与引当金	152,630	81,660
その他	387,999	403,931
流動負債合計	3,213,442	3,441,299
固定負債		
社債	180,000	180,000
長期借入金	2,539,834	2,741,000
リース債務	77,917	75,433
長期末払金	1,500	1,500
長期預り保証金	1,976,264	1,973,691
繰延税金負債	590,041	680,434
再評価に係る繰延税金負債	850,717	850,717
役員退職慰労引当金	55,648	55,648
退職給付に係る負債	755,000	802,501
資産除去債務	105,530	122,890
固定負債合計	7,132,452	7,483,816
負債合計	10,345,895	10,925,116
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,552,640	4,552,640
資本剰余金	3,737,647	3,737,647
利益剰余金	3,907,862	3,991,795
自己株式	△237,303	△271,220
株主資本合計	11,960,845	12,010,862
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	205,683	439,647
土地再評価差額金	1,737,910	1,737,910
その他の包括利益累計額合計	1,943,593	2,177,558
純資産合計	13,904,439	14,188,420
負債純資産合計	24,250,335	25,113,536



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	12,079,299	13,909,719
売上原価	8,225,600	10,214,377
売上総利益	3,853,698	3,695,341
販売費及び一般管理費		
役員報酬	154,253	156,851
広告宣伝費	36,382	36,238
人件費	1,950,795	1,923,807
賞与引当金繰入額	56,716	56,281
退職給付費用	54,416	47,855
賃借料	272,107	250,475
水道光熱費	153,754	150,079
貸倒引当金繰入額	15,808	88,448
その他	771,274	787,244
販売費及び一般管理費合計	3,465,509	3,497,281
営業利益	388,189	198,059
営業外収益		
受取利息	222	62
受取配当金	64,005	63,514
協賛金収入	10,503	19,573
貸倒引当金戻入額	15,128	15,082
投資有価証券売却益	1,649	-
その他	14,481	13,968
営業外収益合計	105,990	112,201
営業外費用		
支払利息	37,173	36,735
借入関連費用	970	1,289
その他	387	907
営業外費用合計	38,531	38,933
経常利益	455,648	271,327
特別利益		
関係会社株式売却益	41,750	-
特別利益合計	41,750	-
特別損失		
特別退職金	11,340	-
固定資産除却損	15,501	27,713
解約違約金	21,000	-
特別損失合計	47,841	27,713
税金等調整前四半期純利益	449,556	243,613
法人税、住民税及び事業税	94,686	68,793
法人税等調整額	△44,858	11,950
法人税等合計	49,828	80,744
四半期純利益	399,728	162,869
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	399,728	162,869

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	399,728	162,869
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△66,421	233,964
その他の包括利益合計	△66,421	233,964
四半期包括利益	333,307	396,833
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	333,307	396,833
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。